

「総合的な労働衛生管理」 をテーマに研修会を開催

◆関東産業衛生技術部会

関東産業衛生技術部会（部会長：田中茂・十文字学園女子大学教授）は2月2日、第13回研修会を東京・品川区にある(株)ニコン大井製作所で開催した。今回のテーマは、「総合的な労働衛生管理を考える」。講師には、(株)黒羽ニコン総務部の對木博一氏（写真）とイーグル工業(株)総務部の吉川智明氏が招かれた。

對木氏は、総合的な労働衛

生管理を考えるための前提として、「企業の中で、人は単に経営資源であるだけでなく、企業そのものを形成する最も重要な財産であり、また、それゆえに『人』であることを認識することが重要だ」と

語った。また、吉川氏は、「管理には、①マネジメント（経営管理）②アドミニストレーション（運営管理）③コントロール（統制管理）——があり、労働衛生管理は経営の中



(株)黒羽ニコン総務部の對木博一氏

の一項目としての位置づけである」とし、ライン管理の考え方については、「すべての管理者が安全衛生・環境を念頭に置いた業務推進をすることが基本である」と説明した。